

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

税理士法人 優和

経営者への活きた言葉

TEL 03-3455-6666
FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

出した答えが違っていたら現場へ出向き即変える 井上 礼之 (ダイキン工業会長)

1. 経営者の役割とは何か

井上 「答えがない、みんな答えが出せないで迷っていることを、こうする、と決めることだ。そこに理論的根拠はなく、確信はない。結果として成功したものが多い」

2. 間違った決断に基づき実行すると傷を深くしませんか

井上 「出した答えが間違っていたことも多かった。方向性だけを決めて戦略はまだ十分に練ってない。だから、現場の波打ち際にトップも一緒に立って、変化を見て、これは間違っていると思ったら戦略の方向性を現場で即変えていく。現場の人たちとの実行に次ぐ実行でコンペティターに勝ってきた」

3. 空調以外のプレーヤーで脅威を感じる企業はどこか

井上 「グーグルが本気で空調機に乗り出してきたら怖い。われわれの強みは空気のデータと空調の専門技術。グーグルみたいな大きな IT 企業は、空調技術を持った会社を買収できる。ただ特にアジアなどは流通、販売、サービスが複雑に入れ組んでいる。人を介して信頼をベースにした販売網や工事・サービス網の構築は、ネット企業には一朝一夕にできない参入障壁になる。

(参考:「週刊東洋経済」2018年4月28日・5月5日号)

経営者のための理念・哲学

会社の目的は何か

塚越 實 (伊那食品工業㈱取締役会長)

- 木の年輪が毎年一輪ずつ増えていくように、無理をせず、自然体で会社を成長させていく経営を実践してきました。「早く大きな会社にしよう」と成長を急ぎ過ぎるのは、社員にとっても、会社をとりまく人々や世の中にとっても決して好ましいことではありません。限られた市場の中で一つの会社だけが急に大きくなれば、ほかの会社の経営にしわ寄せが及びますし、お客様に不利益をもたらすこともあります。
- 会社を大きくすることや、利益を増やすことは経営の目的だと思われがちですが、それらはあくまでも手段にすぎません。会社は経営者や株主だけでなく、社員や会社をとりまく皆さまが互いに幸せになるためにあるのです。

(参考:「日経ビジネス」:2018年4月2日号)

人事・労務について

増える名ばかり正社員

藤田 孝典 (NPO 法人代表理事)

- われわれ NPO では年間約 1000 件の生活相談を受けますが、最近は中身に変化が起きています。以前ならば、相談に訪れる若者は、その日暮らしの日雇い労務者といった非正規雇用者が中心でした。ところが最近は、正社員が相談に来るのです。一生懸命働いた結果、長時間労働でうつ病を発症し、働けなくなってしまって貧困に陥るケースも目立ちます。
- 正社員なのに企業は使い捨てを前提としていて、教育研修もなく扱いは非正規とほぼ同じ。だけど、本人は非正規に落ちたくない頑張りまう。こうした「名ばかり正社員」が増えていて食えない非正規か、必死に働いて苦しむ名ばかり正社員か、という二者択一になっています。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2018年4月7日号)

古典に学ぶ

有為なる人物となる

(解説) この志さえあれば、いかなる困難をも突破しうるので、たとえ失敗することがあっても、多大の教訓を与えられ、一層剛健なる志を養い、ますます自信を生じ、勇気を生じて猛進することができ、次第に壮年に進むにつれて有為なる人物となり、個人としてもまた国家の一柱石としても信頼しうる人物となるのである。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)